

研究班番号【 44 】
オノマトペ歳時記を作ろう

国語班: 荒川 結愛、後藤 佳澄

Abstract

The purpose of this study is creating “Onomatopoe Saijiki”, which is a literary calendar of onomatopoeia by categorizing onomatopoeia with four seasons, and revealing relation between seasons and weather or plants of Japanese people’s images. The experiment shows that the onomatopoeia that many people associate with weather tends to make people imagine summer or winter. Therefore, this study concludes that Japanese people have images of weather in summer and winter stronger than other seasons.

要約

本研究の目的は、オノマトペを四季で分類した「オノマトペ歳時記」を作成し、オノマトペを通じて日本語話者のイメージにおける季節と気候または植物との関連を明らかにすることである。調査によって、多くの人に気候を連想させるオノマトペは、夏・冬を想像させやすいことが明らかになった。従って本研究では、日本語話者は夏・冬に、より強く気候のイメージを抱いていると結論付けた。

1. はじめに

日本語には、辞書としてまとめられているものだけでも4500種類もの豊富なオノマトペが存在し、日本語は世界では韓国に次いで2番目にオノマトペが多い言語ともされている。また、国際的に見て、四季があることは日本という国の大きな特徴とも言えるだろう。実際、日本で古くから楽しまれてきた俳句では必ず季語を使う決まりがあり、季節ごとの情景を表す文学作品も多い。このように「オノマトペ」と「四季」は日本人に親しまれてきた日本の言語と風土の特徴である。私たちはオノマトペを季節という観点から分析することで、この2つについてより理解を深めたいと考えた。

本研究は、オノマトペを四季で分類した「オノマトペ歳時記」を作成し、日本語話者の季節の考え方・感じ方を分析することを目的とした。そのために、オノマトペから想像する季節を問うアンケートを実施して、その結果からオノマトペをそれぞれの季節に分類し、解説を作成した。

なお本研究において、オノマトペとは擬音語・擬態語の両方を指し、季節の分類は春・夏・秋・冬の4種類とする。

2. 研究方法

「気候に関するオノマトペは夏・冬を想像させやすく、植物に関するオノマトペは桜や紅葉など、季節を象徴する植物がある春・秋を想像させるのではないか」という仮説を検証するため、気候に関するオノマトペと植物に関するオノマトペを提示して、どの季節を想像したかと何を連想してその季節を想像したかを問うアンケートを実施した。

使用するオノマトペは、小野正弘 著『擬音語・擬態語4500 日本語オノマトペ辞典』の意味索引より、気候・植物に関するものを選出し、「weblio 日本語例文 用例辞書」において気候または植物を描写するとされているものみに限定した。そして、気候を表すオノマトペ・植物を表すオノマトペとして選んだものをそれぞれ15個ずつ提示し、その一つ一つについて以下の質問を行った。

《質問》

- ①どの季節を想像しましたか？ 〈春・夏・秋・冬・どの季節にもあてはまらない から1つ選択〉
- ②何を連想してその季節を選びましたか？(何も連想しなかった場合は空白) 〈自由記述〉

アンケートはGoogle フォームで作成し、高津高校の78期・79期生86人から回答を得た。

3. 結果

気候に関するオノマトペとして提示したオノマトペでは、全15個中12個において60%以上の人が夏または冬を想像したと回答していた。また、そのうち10個のオノマトペについては60%以上の人が気候に関係のあるものを連想していた。

植物に関するオノマトペとして提示したオノマトペでは、そもそも植物に関係のあるものを連想する人が少なく、25%以上の人が植物に関係のあるものを連想したオノマトペは5つだけだった。その5つのオノマトペの中でも、想像した季節として春または秋が極端に多くなることはなかった。

気候を表すものとして 選んだオノマトペ	質問① どの季節を想像しましたか？				質問② 何を連想してその季節を想像しましたか？		
	季節	割合	季節	割合	理由:気候	理由:植物	気候-植物
ぼつぼつ	夏	58.10%			69.77%	0.00%	69.77%
さんさん	夏	87.20%			81.40%	2.33%	79.07%
ぼかぼか	春	90.70%			70.93%	0.00%	70.93%
どんより	夏	40.70%	冬	32.60%	60.47%	0.00%	60.47%
ぬくぬく	冬	73.30%			19.77%	1.16%	18.60%
じとじと	夏	93.00%			79.07%	0.00%	79.07%
じりじり	夏	93.00%			72.09%	0.00%	72.09%
びゅーびゅー	冬	69.80%			76.74%	0.00%	76.74%
じめじめ	夏	93.00%			79.07%	0.00%	79.07%
ごろごろ	夏	27.90%	—	26.70%	25.58%	1.16%	24.42%
ひんやり	冬	38.40%	夏	31.40%	47.67%	0.00%	47.67%
ばらばら	夏	27.90%	—	32.60%	44.19%	3.49%	40.70%
ざーざー	夏	70.90%			62.79%	0.00%	62.79%
ひゅーひゅー	冬	61.60%			68.60%	0.00%	68.60%
むしむし	夏	98.80%			70.93%	0.00%	70.93%

最も選ばれた季節とその割合

最も選ばれた季節がどの季節でもない(-で表示)ものと割合が50%未満であったものは二番目に多かった季節も示している

植物を表すものとして 選んだオノマトペ	質問① どの季節を想像しましたか？				質問② 何を連想してその季節を想像しましたか？		
	季節	割合	季節	割合	理由:気候	理由:植物	気候-植物
するする	—	32.60%	夏	24.40%	18.60%	4.65%	13.95%
はらはら	春	30.20%	秋	25.60%	5.81%	41.86%	-36.05%
すかさすか	—	36.00%	冬	33.70%	15.12%	19.77%	-4.65%
ざらざら	—	69.80%	冬	12.80%	11.63%	3.49%	8.14%
さやさや	—	46.50%	春	31.40%	15.12%	15.12%	0.00%
ぼとん	—	53.50%	夏	24.40%	16.28%	3.49%	12.79%
かさかさ	冬	54.70%	秋	36.00%	37.21%	30.23%	6.98%
がさがさ	冬	39.50%	秋	27.90%	18.60%	25.58%	-6.98%
つやつや	—	57.00%	春/夏	14.00%	8.14%	8.14%	0.00%
によきよき	春	66.30%	—	16.30%	1.16%	56.98%	-55.81%
つんつん	—	60.50%	冬	26.70%	19.77%	1.16%	18.60%
ちらほら	—	59.30%	春	25.60%	6.98%	11.63%	-4.65%
ぱっ	—	46.50%	春	33.70%	8.14%	11.63%	-3.49%
あおあお	夏	83.70%			10.47%	54.65%	-44.19%
ふっくら	—	43.00%	冬	26.70%	1.16%	9.30%	-8.14%

回答のうち、それぞれに関連する言葉が入っているものの割合

気候に関連する回答の割合から植物に関連する回答を引いた割合

※夏・冬は紺色と白字、春と秋は黄色と黒字で色分けして表示している。
 ※気候-植物の行では、+(気候の割合が多い)の場合は夏・冬と同じ色分けを、-(植物の割合が多い)の場合は春・秋と同じ色分けをしている。

▲アンケート結果のまとめ

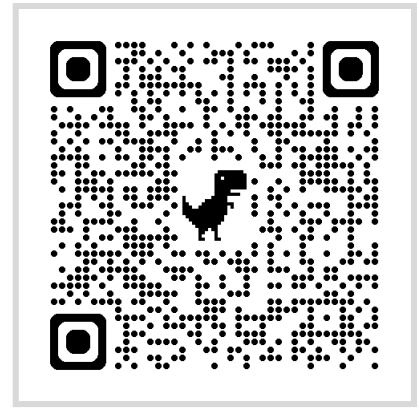
4. 考察

気候に関係のあるものを連想させやすいオノマトペは、多くの人に夏または冬を想像させる。一方、オノマトペが植物に関係のあるものを連想させることと春または秋を想像させやすいこととの間に相関は見られなかった。

気候に関するオノマトペの中では、雨を連想させるオノマトペ（「ぼつぼつ」や「ざーざー」など）は梅雨のある夏を想像させやすく、風を連想させるオノマトペ（「びゅーびゅー」や「ひゅーひゅー」など）は冬を想像させやすいと考察できる。

また、雨に関連するオノマトペの中でも「じとじと」「じめじめ」といった湿度の高い様子を想像させるものほど夏を選ぶ人の割合が多かった。落葉に関するオノマトペとして提示した「かさかさ」「がさがさ」では、肌の乾燥を連想して冬を想像した人が多くいたことと併せて考えると、夏、特に梅雨には湿

度が高いイメージが、冬には湿度が低く乾燥しているイメージが付いていることが分かる。



▲作成したオノマトペ歳時記

5. 結論

気候に関するオノマトペの結果から、日本語話者は四季の中で夏・冬を気候の特徴と結びつけやすいと考えられる。

しかし、今回の研究では植物に関係のあるものを万人に連想させるオノマトペを用意できなかったため、植物に関するオノマトペが想像させる季節に傾向はあるのかを十分に調査することはできなかった。

今後機会があれば、植物をより連想させやすいオノマトペを使って植物のイメージがある季節を探ったり、気候・植物以外のものと季節との関係を調査したいと思う。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

- 小野正弘.『擬音語・擬態語4500 日本語オノマトペ辞典』.2007.小学館
GRASグループ.『Weblio辞書』<https://www.weblio.jp/cat/dictionary/wnryj>.(2024/11/20)
荻阪直行.『擬音語・擬態語の感覚尺度(I) * ～ことばの精神物理学～ ―連想順位表に基づく分析―』.1986.追手門学院大学文学部紀要.通号 20.21~61ページ
<https://www.i-repository.net/contents/outemon/ir/301/301861205.pdf>.(2024-12-04)
三菱電機ビルテクノサービス株式会社.『季節に関する調査報告書』.2010/03.
https://www.meltec.co.jp/press/_icsFiles/afieldfile/2010/04/01/kisetsu.pdf